

令和7年3月

自己評価結果

社会福祉法人北越福祉会
北越こども園

施設職員の間から見た「北越こども園」の自己評価結果を、下記のとおりご報告します。

記

- 園長、副園長、主幹保育教諭2名、副主幹保育教諭の計5名が評価を行いました。
- 各評価項目について、A～Dの4段階で評価を行いました。
- 総評コメントを設け、最後に今後取り組むべき課題を掲げました。

令和6年度 施設職員自己評価

1. 施設・事業所の概要

(1) 法人名	社会福祉法人北越福祉会
(2) 事業所名	北越こども園
(3) 所在地	新潟県十日町市本町六の一丁目79番地1
(4) 電話番号	025-757-3860
(5) 福祉サービスの種類	幼保連携型認定こども園

2. 実地調査日

令和7年3月31日

3. 評価結果の概要

【評価基準】 A…十分達成されている B…概ね達成されている C…取り組んでいるがまだ不十分
D…できていない

評価項目	取組内容	自己評価
(1)職員間の共通理解を図りながら、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえ、園の理念・方針にしたがい、全体的な計画を編成・実施している。	■園の理念・方針と現代の傾向である主体性保育とのギャップの間で、職員間での共通理解を得るのも難しさを感じる。 ■行事や保育活動を振り返り「幼児組会議」「未満児組会議」「リーダー会議」で見直しや課題の検討を行っている。 ■未満児・幼児リーダーを中心に会議で検討し、見直しをしている。適宜、日本文化や可能性にチャレンジできるような遊びを提供している。	A3・B1・ C1

<p>(2)指導計画は、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、全体的な計画、子どもの実態などをもとに考えて作成し、評価・改善を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■園としての方針がしっかり定まっていなまま年度がスタートし、指導計画の見直しをじっくりとしたかった。 ■年年度見直したR6年度の「保育内容の到達目標」を参考に取り組み中で、毎月クラス単位や幼児・未満児クラスでの振り返りをしてもらい、次年度の資料作りをしている。 ■年度ごとに見直してもらい、会議で検討している。 	<p>A3・B2</p>
<p>(3)子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■毎月の全体会議、幼児組、未満児組会議で子どもの様子をていねいに報告し合う ■クラスでのミーティングを充実させることで、担任全体で情報共有でき、また、課題への取り組みも同じ目線でできるようにしている。 ■保護者との面談を定期的に行い、園と家庭との共通認識のもと、子どもの育ちを見守っている。 	<p>A3・B2</p>
<p>(4)各クラスの成果と課題を報告する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■未満児・幼児組会議、リーダー会議を行い、職員会議で共有している。 ■毎月の全体会議、幼児組、未満児組会議で子どもの様子をていねいに報告し合う ■各クラスの様子を職員会議資料に載せることで職員全体で共有できている ■毎月の職員会議やリーダー会議で報告し合い、共有している 	<p>A5・B0</p>
<p>(5)子どもの良さを認めて評価しようとしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■課題は多いが良さを認めて評価が難しい ■私個人としては子どもの良い所を認めようと意識しているが、園全体として、子どもの良さよりマイナス面の報告が多いように感じる ■子どもに寄り添い、子どもの言動を受け止めながら物事の良い悪いはしっかり伝え良い所はたくさん褒めるようにしている ■良い言動をしたときはその場でほめて認めて物事の良し悪しをクラス中で話し合ってみんなで共有してるが、マイナス面しか見えていない職員もいる 	<p>A1・B3・C1</p>
<p>(6) あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ガラクタ工作や、ごっこ遊びの環境を整えてあげると夢中になって遊んでいる ■自発的に遊んだり、活動する時間を大切にし、その中で友達関係が身についていくようにしている ■各クラス年齢に合った玩具になっているか？とも思うが自発的に遊べるように手作り玩具を作ったりとクラスで協力している 	<p>A2・B3</p>
<p>(7) 規則正しい生活習慣の定着、手洗い・うがいの定着等に向けての指導を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■看護師が各クラスをまわり指導にあたっている ■毎日のくりかえしで身につけている ■看護師による歯磨き指導や日々の生活の中での担任によるトイレトレーニング等、個々のペースに合わせて進めている ■看護師から手洗い指導をしてもらったり、トイレ・お部屋などに視覚で覚えられるように掲示している（写真やイラストで） 	<p>A5・B0</p>

<p>(8) 季節の草花を園庭に植える。 生き物を飼育する。 各コーナーのおもちゃ、絵本の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■園庭や畑で育てているものに水やりを行い、成長を楽しみにしている。 週1回のワクワク文庫 ■担任によって興味のある・なしに差があるように思う ■園庭で野菜を育てたり、プランターにお花を植えて観察する。毎週木曜日にワクワク文庫にある絵本の貸し出しを行っている。 ■季節の草花は園全体で取り組んでいる。野菜の栽培は得意な職員もいるので日々気にかけてくれている。玩具・絵本等は消耗品なのでその都度処分・購入をしている 	<p>A4・B1</p>
<p>(9) 日々の生活と遊びのを通して「食」に関わる体験を積み重ねることで、「食を営む力」を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■自分たちで育てたものをクッキングしている ■栄養士が子どもの興味を引くような展示等を工夫してくれ「食」に対して興味を持つ子が多い ■食育は栄養士とクラス担任との話し合いの上、育てた野菜を使っのクッキングを実施したりして子どもたちが身近に感じる事ができるようにしている ■野菜の収穫等で自分たちで作った野菜を利用してクッキングをしたり、食育計画を作成し、様々な取り組みを行っている（夕涼み会でおやつ試食など） 	<p>A5・C0</p>
<p>(10) 衛生管理を徹底し、感染症の予防と集団感染を防ぐ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■感染拡大しないように出来るだけ部屋を分けている ■看護師を中心とし、保護者へのアナウンス等で感染症の大きな流行もなく過ごせた過ごせた ■看護師の指導のもと衛生管理を徹底したり、感染症については学校医との連絡が取りやすく相談後のアドバイスもしっかり受けている。 ■看護師が主となり、おたよりやITCを利用し発信しいつでも感染情報が判るようにしている。延長保育児を分けるなどの集団感染を防ぐ取り組みもしている。感染症等、学校医とも連絡・相談を行っている。 	<p>A5・B0</p>
<p>(11) 特別支援教育の理解を深め、一人ひとりに必要な配慮をしながら、発達の支援をする。 家庭、医療機関、関係機関等との密な連携を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■発達支援センターを中心として定期的な訪問やカンファレンスを行い、個々に合った配慮や支援を心掛けている ■障がい児の特性に合わせて危険がないような保育環境づくりをし、発達支援センターや保健師さんと相談しながら進めている ■クールダウンができる部屋や仕切りの提供、発達支援センター等の専門機関と相談しながら保護者、担任と適宜面談を行っている 	<p>A5・B0</p>
<p>(12) 小学校へのスムーズな接続が図れるような工夫や取り組みを積極的に行う。 幼保小連携研修に参加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■担任はもちろんのこと、主幹もできるだけ研修に参加しようと努力している ■就学支援や各小学校との連絡会を行っている。子どもたちも小学校の行事に参加し、不安を軽減できるようにしている 	<p>A5・B0</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ■小学校とは毎年行事等の時、交流会をしている。年長クラスは、入学予定の学校の先生と話し合う時間を設けている ■アプローチカリキュラムを基に小学校との交流を行っている。小学校の先生とも面談したりと連携している。研修会等も積極的に参加している 	
<p>(13) 職員の安全管理の意識を強化する。</p> <p>火災・地震などの災害発生時、不審者侵入時の安全確保のための通報・避難・保護の方法手段を共有し、訓練を行う。</p> <p>防災・防犯マニュアルを策定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■R7年度中に引き渡し訓練を行う予定 ■毎月訓練を行い、さまざまな想定、時間帯などに対応できるよう、設定を工夫する。 ■月1回の避難訓練を実施している。今までは主にクラス担任が全体の動きを指示していたが、R7年度からは事務室にいる職員も全員実施する予定。 ■避難訓練は毎月行い、年2回の消火訓練も実施している。I T Cを利用し、保護者への緊急メール等も行っている。 	A3・B2
<p>(14) 園だよりやホームページ等で、教育・保育の状況を伝え、保護者と情報共有を図るとともに、理念・方針への共通理解を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■保護者にタイムリーに伝わるようペーパーレス化し、I C Tによる情報発信をしている。 ■おたよりやお知らせ等はキッズビュー配信にし、おうちの方が24時間いつでも確認できる形にしている。R7年度はもっとタイムリーにクラスの様子等をS N S配信を検討中。 ■その日の活動を玄関で写真掲示したり、その都度メール、おたより配布をし情報共有している 	A3・B2
<p>(15) 地域の子育て家庭に対して、子育てに関する情報の提供や気軽に集える交流の場を提供している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■地域の交流の場を打ち出しているが、感染症が出たり…でも門を閉じていることが多かった ■毎週木曜日に「にこにこデー」を開催している。幼児クラス担任と保護者との面談を設け、タイムリーに情報共有している。未満児クラスも必要に応じて面談している ■にこにこデーをR6年度から再開。ポスターも新しくしたが、利用率は低い 	A2・B2・C1
<p>(16) 教育・保育の質の向上のために、園内研修を充実させる。</p> <p>また、各研修会や研究会に積極的に参加し、職員に情報提供や資料提供をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■研修報告を記録し、職員会議で発表してもらっている ■コロナも収束し、各研修会も増え、積極的に参加している。全員揃ったの園内研修も、年に何回か実施できた ■外部研修受講後の内容の職員共有がしっかりできていない気がする。R7は会議等で受講してきた職員による発表の時間を設ける等、要検討。 ■園内研修は後半にかけて行った。各研修会や研究会には積極的に参加しているが、報告がしっかりできているか？会議等で共有する必要あり。 	A3・B2
<p>(17) 職員の心得を熟読し、職員としての質の向上をはかる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■毎朝“心得”を声に出しているはずだが、身につけているのだろうか？ ■外部研修や園内研修をもっと充実させ全職員でスキルアップを目指す。 ■スキルアップにつながる研修に参加している。職員の質の向上に繋がる研修を。自園で抱えている問題を交えて積極的に取り組んでいきたい 	A1・B4

4. 施設・事業所のコメント

コメント	自己評価
<p>■職員間の共通理解を図りながら日々保育に当たっているが、時間的に余裕がなく、課題から解決までに至らないことが多い。子どもたちのことを思い、まずは職員間をより良好な関係にしていきたいと思う。</p> <p>■概ね達成されていると思う。</p> <p>■世の中の情勢が目まぐるしく変わっており、保育や支援の内容・方法も変わっていくので、スピード感をもって順応していく柔軟さが必要と思われる。</p> <p>■R6年度からにこにこデー（未就園児受入）を再開したが、実際は殆ど利用される人がいないのが現状。年々少子化になっているので入園をいろんな形でアピールする意味でも園の様子をSNSに上げて当園の良さを知ってもらい、他園みたいにタイムリーに配信していけると良いと思う。</p> <p>■未満児クラス・幼児クラスの各リーダー間の温度差を感じる時がある。園全体を一つの組織として運営していく上で一番大切なのはやはりコミュニケーション。保護者との・職員間の・園児とのコミュニケーションを大事にしていきたい。</p>	<p>A1・B4</p>

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
園の理念・方針を職員に伝える	理事長面談を年1回は必ず行い、対話を通して理念を伝えていく
子どもがワクワクするような環境設定	園全体を使っのコーナー遊び

当園の改善目標として役立ててまいります。